

# にしんESD講座通信

**2020年12月12日**  
**第3回みぢかな自然観察会**

4 質の高い教育を  
みんなに



15 陸の豊かさも  
守ろう



紅葉と落ち葉の下の生きものの観察をテーマとした自然観察会が総合運動公園で開かれました。

この講座は、自然の楽しさや大切さを伝え、持続可能な社会の担い手を育む「人づくり」を目指すESD(持続可能な開発のための教育)活動の一環として行われています。

この日講師を務めた日進岩藤川自然観察会代表の鬼頭弘さんは、生きものの観察を通して、子どもたちに自然の大切さを教えてくれました。



講座では、落ち葉をめくって虫を探したり、枯れ葉や土を網目の細かい振るいにかけて、小さな虫をルーペで観察したりしました。また、落ち葉を溜めてある場所では、カブトムシの幼虫が隠れていてみんなで観察しました。

普段、気にして見ることのない落ち葉の下には、実はたくさんの生きものが住んでいます。これらの生きものが落ち葉や枯れ枝を分解して土壌ができます。この土壌があるおかげで植物が育ちます。そして、その植物をエサにする動物がやってきます。こうした生きもののつながりが、落ち葉の下の生きものから始まっていることを今回の講座で学ぶことができました。